



発行所 町 伊方町
 愛媛県西予郡伊方町湊通
 〒796-03 伊方町8-0211
 編集 課
 総務 所
 豊 社
 八幡浜市松栢 ☎22-0144

今月の紙面
 二・三面……やつとお目見え
 待望の救急車は「二一九」へ
 町消防出初め式
 四・五面……カメラポート
 二見小のわんぱく学級
 健康づくり推進大会 駅伝大会
 国民年金の保険料改訂
 歳時記「酒」



九町に老人広場と休憩所

「ゲートボールが楽しめるほどの広場と休憩所がほしい」。九町のお年寄りの皆さんの願いがかない、このほど立派な老人広場と休憩所が完成。三月二日から開放されています。

それ／＼こんどこそは

初練習を楽しんだのは畑老人クラブ（大沢末広会長）の皆さん。この日は十五人の会員が集まり、手作りのセツケンをつけ五人ずつの二組に分かれてゲートボールを楽しみました。

老人広場と休憩所は、九町六部落（奥・向・畑・須賀・久保・西）のお年寄りの要望で九町診療所下に建設。総面積四百二十二平方メートルの

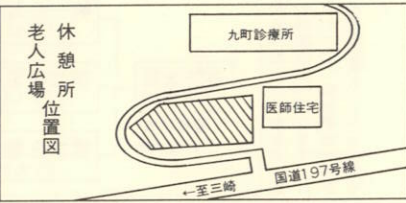
老人会が管理

してました。木柱でボールを打つてころがすこのゲーム、五人一組の二チーム対抗戦。ゲートと呼ばれる三つの門をくり抜け、中央に立っている棒にボールを当てたらあがりです。町ではすでに十七地区に用具を配布、特に老人クラブの皆さんが盛んに行っています。



完成した老人広場と休憩所。曜日を決めて盛んに活用されています。

手軽に楽しめるゲートボール。ねらいすまして打ったボールの行方を追う目は、真刺そのもの。



敷地にブロック造りの休憩所（平家建）約十六坪、広場三百四平方メートルを造成したものです。総事業費一千四万で二月二十八日に完成。六部落の老人会へ管理委託が行われ、お年寄りのかながたの憩いの場になっています。町では五十九年度事業でテレビ、冷蔵庫、あんま機などの備品整備をすることになっています。

一日2円足らず 交通災害共済の手続き早めに

一日2円足らずで最高100万円の見舞金——。今年も交通災害共済の加入手続き時期になりました。万一に備え家族ぐるみで加入しましょう。

町内は、小中学生はすでにそれぞれの学校を通じて加入推進を依頼。一般のかたがたは役場総務課と町見支所で受付を始めています。また、3月下旬から部落巡回をして加入を呼びかけることにしています。日時などは部落区長さんを通じてご連絡いたします。

▷加入資格
 町内に居住し、住民基本台帳及び外国人登録されている人。また、高校生や大学生などで町外に居住している人も加入できます。この場合、世帯主の加入が必要です。

▷共済掛金
 1人年額
 [一般……………600円
 [中学生以下…250円
 (昭和44年4月2日以降に生まれた人)

▷共済期間
 昭和59年4月1日から60年3月31日まで。いつでも加入できますが、4月1日以降に手続きをした

人は、掛金を納めた翌日から60年3月31日までです。したがって、早めに加入手続きを済ませたほうがお得です。

▷災害見舞金
 災害見舞金は右表のとおりです。加入者であれば日本国内のどこで起きた交通事故でも対象になります。ただし、飲酒運転などの特別な場合には見舞金が支給されないことがあります。

▷問い合わせ先
 交通災害共済に関することは役場総務課までお尋ねください。

保育園児は町費で
 今年も保育園児は全員町費で加入することになっていますので、手続きの必要はありません。

等級	災害の程度	金額
1	死 亡	100万円
2	医師の治療実日数360日以上の傷害	20万円
3	医師の治療実日数 180日以上 360日未満	17万5千円
4	医師の治療実日数 96日以上 180日未満	15万円
5	医師の治療実日数 80日以上 96日未満	12万5千円
6	医師の治療実日数 64日以上 80日未満	10万円
7	医師の治療実日数 48日以上 64日未満	7万5千円
8	医師の治療実日数 32日以上 48日未満	5万円
9	医師の治療実日数 16日以上 32日未満	3万円
10	医師の治療実日数 7日以上 16日未満	1万円

加入者であれば日本国内どこで起きた交通事故にも適用されます。

火事も救急も「119」へ

火事も救急も「119」番へ。昨年の四月に八幡浜市と西宇和郡五町によって設立された八幡浜地区施設事務組合。施設整備や職員の養成などの開設準備が整い、いよいよ四月一日から広域常備消防業務が始まります。

これにより、待望の救急車が利用できるようになります。今月はこのことにもスポットを当ててみました。

準備整い4月1日から

本町は第2分署(保内)の管轄

広域常備消防は昭和五十五年に話しが持ち上がり、設置についての打ち合わせが何度か行われました。分署の数や用地などの問題一時足ふ。五十七年七月に新たに救急業務を加える協力が始まりました。

その後、一市五町の担当者との事務レベルでの調整が進み、同年十月に合意。昨年四月には、今年四月の業務開始を目指し、八西施設事務組合(特別養護老人ホーム、伝染病舎、隔離病舎の事務)に広域消防及び休日夜間急患センター事務を加え、名称も「八幡浜地区施設事務組合」に変更。業務開始の準備に努めていたものです。

組織は、消防本部を八幡浜市(現八幡浜市消防署)に置き、郡内三方所に分署が設けられました。

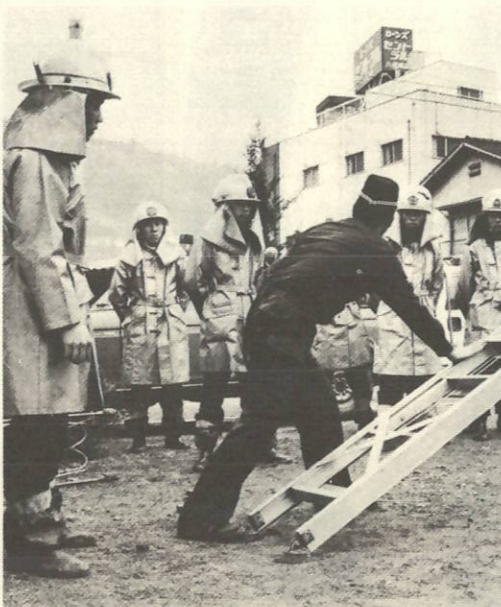
分署の内訳は、三崎町と瀬戸町に第一分署、本町と保内町に第二分署、三瓶町に第三分署が置かれ、本部には職員三十六人、分署には、四月のスタート時点で分署長以下七人を配置。当初は救急業務が主体になります。その後定期的に増員し、昭和六十一年十月一日のスタート時には

しばらく救急業務が主

伊方町は、保内町とともに第一分署の受持ち区域となり、分署庁舎は保内町宮内の国道一九七号線沿いにあります。建物は鉄筋コンクリート造り二階建て、延べ三百七十平方メートル。三月二十日に完成しました。

四月一日のスタート時には分署長以下七人、中型ポンプ自動車一台、救急車一台、排気量千ccワゴン車、広報車一台が配備。三すすつつの交替で、二十四時間体制の交代したちの生命と財産を守ることになっています。

しかし、常時三人では十分な体制は取れず、しばらくは救急業務が主。したがって救急業務で出勤中に火災が発生したような場合には、分署の



業務開始に備え、訓練を受ける昨年9月採用の消防職員



八幡浜地区施設事務組合 消防長 菊池 正善

このたび、地域住民の皆様が待望された広域消防の体制が整い、4月1日かとなり。このことは関係各位、地域の皆様のご理解とご協力によるものとご同慶にたえせん。

さて、近年にお

組合消防発足にあたり

る災害は地域社会の変ほうと生活水準の向上が相まって、多種多様な災害が発生しています。ガス爆発・トンネル火災、さらには集中豪雨・地震など。これらの災害が当地域においても発生しないという保証は何もありません。

このような社会環境における近代消防は、住民の皆様のご日常生活に身近な業務として位置づけられ、より高度の専門的知識と技術が望まれ、総合的な消防防災力の充実のために地域の消防団と併せて、常備消防組織の設置が必要です。

組合消防は、消防団と不離一体となった協力体制の確立に努めるとともに、職員一同職責の重大性を自覚し、住民の皆様のご期待にこたえられるよう、いっそう努力精進いたします。温かいご指導とご支援をお願い申し上げます。

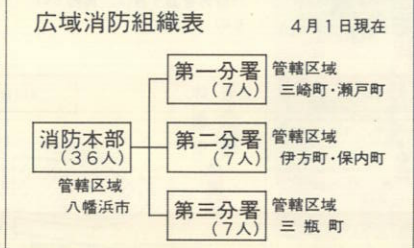
通報は消防署に直通

急患のとき

四月一日から非常時の通報体制が異なります。(上部通信システム図参照)火事も救急の場合も急患なしの「119」番におかけください。

伊方町内からの一九番通報は、すべて八幡浜市の消防本部につながります。

消防本部で救急か火災かの確認をした後、救急の場合は



火事のとき

専用電話で保内町にある第二分署へ連絡。第二分署から待機中の救急車が直ちに出勤します。

出動した救急車は無線設備により本部と交信。到着と同時に救急者の状況を確認し、本部に伝え、本部では病院などの手配をして救急車を誘導します。

救急患者の搬送は消防署が行います。順序は、まず近くの病院をです。医師の指示

一方、火災の場合は第二分署への連絡とともに専用電話で現場へ通報が入ります。現場では、広報無線放送でサイレンを吹鳴するとともに火災現場と消防団員の出勤要請をします。消防団員の出勤や現場からの放送などは今までもあります。



現場指揮は地元 池田 六郎 (町消防団長)

広域消防のスタートで、専門の知識を持った消防職員が常駐し、本町はもちろん八幡浜市・西宇和郡内の消防体制が充実します。待ち望んでいたことであり、たいへんうれしく思っています。

しかし、広域消防も当分は救急業務が主。消防活動は今までもおり地元消防団が中心で、現場の指揮はわたしたちが取りま。消防署との連携を以上しながら、これまでに以上に信頼される消防団運営に努める覚悟です。

町民の皆様には、消防団に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、今年に入ってからすでに二件の火災が発生しています。火の元火の取り扱いは十分ご注意ください。



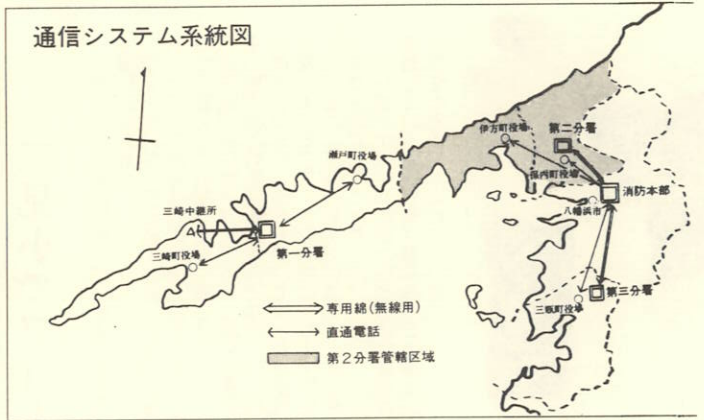
救急業務に期待 二宮寿賀子 (中之浜)

なことが起こるかかわりません。夜中や病院の休患日などは大変でした。これで、いつでも救急車が来てもらえるのかと思うのが軽くなった気がします。救急業務に大きな期待をしています。

ただ、使い慣れないことで多少の不安もあります。聞くところによれば、電話さえすれば直に出勤していただくこと、むやみに使えない、正しい利用を心がけなければと思っています。



通信システム系統図



わかりやすい場所まで案内を

救急車を呼んだら次にこのように協力を... 救急車を呼んだら次にこのように協力を...

救急車をたのんだら

救急車を呼んだら次にこのように協力を... 救急車を呼んだら次にこのように協力を...

町の負担

今年5千万円

町民の皆さんが救急車を利用するときはお金はいりませ... 町民の皆さんが救急車を利用するときはお金はいりませ...

井田さんら62人表彰

町消防団恒例の出初め式

町消防団(池田六郎団長)恒例の出初め式が、三月四日伊方中学校グラウンドで開催されました。

当日は消防団員三百三十五人、四国電力伊方発電所消防隊十八人が勢ぞろい。あいにくの雷の中、消防団員の心意気を示しました。

式典は午前九時から始まり、人員報告、服装姿勢の点検模範ポンプ操法などが披露されました。



伊方港に一斉放水。20本の水柱が

式典終了後は役場前の物揚場へ移動。一斉放水で出初め式に花を添えました。

出初め式で表彰されたかた

- 日本消防協会会長表彰: 井田芳生須賀, 岩井順久二見, 宮本一弘亀浦, 鳥津数夫鳥津
愛媛県知事表彰: 宮本重男小中浦, 上田實彦二見
愛媛県消防協会会長表彰: 篠沢忠文川永田, 佐竹直行(湊浦), 佐竹勝久(中浦), 堀内一郎(向)...

消防力強化

Table with columns: 分団名, 消防ポンプ自動車, 小型動力ポンプ, 積載車, 団員数, 戸数. Includes a summary row for the fire department.

伊方町の消防力

使うお金の主なものは、消防施設の維持管理費に三千万円、七十二人の職員給与費二億四千四百万円などとなっていきます。



長年消防活動に功績のあった団員を表彰



119番の

火災や事故を発見したら「一九」番へ通報してください。消防自動車や救急車が一刻も早く現場に到着し、効果的な活動をするためには、場所・目標物・火災や負傷者の状況などを「落ちついて」正確に「通報してください」。

正しい通報は、素早い消火活動や負傷者の応急処置、病院への搬送を円滑に実施するために不可欠です。火災の種類や規模によって必要となる消防車両の種類・台数などを即時に判断し、的確な行動を行うためには、その判断のもととなるあなたの正確な通報が、ぜひとも必要なのです。

伊方小体育館が完成

昨年の8月から工事を進めていた伊方小学校の体育館が、1月31日に完成しました。

建物は鉄骨鉄筋コンクリート造り一部2階建て、延べ774平方メートル。1階はミニバスケット・バレーボールなどができます。2階は卓球場になっています。

本体工事費は1億2,250万円。関連工事費などが894万円です。従来の講堂の場所に一回り大きくなって完成しました。



体育館の完成で雨の日も安心

加周保育所も新築

加周保育所が新しく生まれ変わりました。建物部分は2月23日に完成し、すでに受け取りを完了。運動場やフェンスなどの附帯工事も3月21日には完成します。

建物は鉄筋コンクリート造り2階建てで暖房施設を備え、延べ320平方メートルあります。また、2階のベランダ部分には人工芝をはり、遊び場にも使えるようになっています。

総工事費は6,000万円。建物を2階建て(従来平家建)にしたため運動場が広くなりました。



運動場など関連工事の完成も間近に



勲章を胸に喜びの小川さん

小川文一郎氏に勲四等 伝達式で勲記と勲章授与

湊浦の小川文一郎氏に勲四等伝達式が下賜(かし)され、三月九日伊方町民会館五階

会議室で伝達式が行われ、小川氏へは叙勲は昭和十九年十一月十一日に賞勲局

伝達式には町三役や職員が

出席、福田町長から勲記と勲章が授与されました。小川氏への叙勲は昭和十九年十一月十一日に賞勲局

大会は町民会館四階大ホールで開かれ、健康優良家庭や三歳児むし歯Oの母親表彰、小中学生から募集した健康標語などの表彰がありました。

三歳児むし歯O母親表彰 仁田之浜……渡辺洋子 洋美(智志) 高月敬子(亮子)

健康優良家庭表彰 伊方小……清水順子・梅田あすき・亀井幸一



▲生徒を前にあいさつをする亀井校長

二十世紀にはばたく子供を育てよう——をテーマに第五回健康づくり推進大会が

二月二十八日町民会館で開催されました。会場には、手作り健康食品の展示試食会、健康標語やポスターの展示も行われ、子供からお年寄りまで約四百人が詰めかけました。

健康優良家庭表彰 伊方小……清水順子・梅田あすき・亀井幸一

健康優良家庭表彰 伊方小……清水順子・梅田あすき・亀井幸一

健康づくり推進大会に400人

次代を担う子育て学

美(智志) 高月敬子(亮子) 泉口秀代(美保) 松田久枝(真子) 伊方越……崎野雅子(有希) 河内……崎田くみ(喜紀) 中浦……竹崎みづほ(さやか) 奥……渡辺正子(美紀) 加周……平家一子(敬美)

献立と栄養

中国に「医食同源」ということわざがあります。正しい食事で病気の予防ができて、病気の人も食事によってだんだん治していかれる、という意味です。

一切れが七グラムの場合、これだけでは必要量が不足しますから肉十グラムをプラスします。

必要な栄養が二キロカロリの場合、これを補うために米カップ一杯とパン百グラム、芋類百グラム、砂糖二十グラム(約大さじ二杯分)となります。

窓の健康

健康の窓は、皆健やかで開かれています。お手を貸したいです。

植物性の油(サラダ油やてんぷら油、マーガリン、バター)などでビタミンA・Dなど脂溶性ビタミンの吸収に欠かせません。植物性脂肪にはリノール酸など必須脂肪酸が含まれていて、二十五グラム(約大さじ二杯分)は取りたいものです。

そこで献立と栄養を考慮する場合、たんぱく質の供給源となる魚・肉・卵・豆類、カルシウム源となる乳製品や海藻類など、六つの食品群に分けてみました。

◇肉・魚・卵・豆類
肉と魚を合わせて百二十グラム、卵一個、豆腐などの豆製品で百四十グラムが必要。魚の切り身

◇青・黄・緑野菜類
青・黄・緑野菜(緑黄色野菜)は、ビタミンAを含んでいます。淡色野菜とは区別して取りたいものです。

◇穀物類
米・パン・めん類などを主としてカロリー(熱量)源になる食品がこの分類に入り、芋類や砂糖などもこれに属します。一日に必要な熱量が二キロカロリの場合、これを補うために米カップ一杯とパン百グラム、芋類百グラム、砂糖二十グラム(約大さじ二杯分)となります。

有寿来が初優勝

第14回町内一周駅伝大会

建国記念の日の二月十一日第十四回町内一周駅伝大会が開かれ、有寿来チームが初優勝に輝きました。

優勝 有寿来チーム
二位 大浜チーム
三位 須賀チーム

大会には十三チームが参加。加周から大浜を折り返して伊方中学校グラウンドをゴールし、十区間十九・五キロメートルを小学生から四十一歳以上までの年齢別

編成で健脚を競いました。入賞チームと区間賞は次のとおりです。
一回入賞チーム
優勝 有寿来チーム
二位 大浜チーム
三位 須賀チーム

